

学校名	平井東小学校	対象学年と人数	4・5年 117人 ひまわり学級4・5年 6人
活動名	荒川クリーンエイド		
指導者	学内指導者：武藤麻衣、渡邊弘人、清水茜、水野恵一、藤田由美子、磯部晶子 学外支援者：星野先生（えどがわエコセンター・下平井水辺の楽校）		

目標

- ・荒川のゴミ拾いをするを通し、どのようなゴミがあるのかを調査し、自然や社会への影響について考えをもつ。
- ・ゴミを減らすためにはどうすればよいかを考え、身近な環境である荒川を大切にしていこうとする気持ちをもつ。

成果

4・5年生は、これまで、草地や干潟の生き物を調査し、身近な荒川の環境について知ることができた。年間を通した最後の実地活動として、荒川クリーンエイドでは、生き物たちへ悪い影響を及ぼす河川ゴミについて調査することができた。

4年生にとっては初めての体験で、想像以上のゴミの量や多様な種類に驚きととまどいを感じた様子だった。調査して終わりではなく、学校に戻ってから、ワークシートや新聞に自然への影響について考えをまとめることができた。ゴミを減らすため・生き物を守るために、自分たちができることについて考えをもつことができたのは、クリーンエイド活動での成果と考える。

また、エコセンター出前授業を受けさせていただき、ゴミを減らすための方法を事前に考えることができた。その時にもった考えや経験が、クリーンエイド活動に活かされていた。

感想・課題等

【感想】

年間を通して、各学年の発達段階に応じた環境学習プログラムを実施していただき、身近な荒川や生き物について調査してきた。昨年度に引き続き、低学年では「草地にすむ生き物」、中学年では「干潟にすむ生き物」、高学年では「環境問題」を中心に見識を深めることができた。

各学年で得た知識を積み重ね、身近な荒川の環境を大切にしようとする考えや、エコについての積極的な姿勢をこれからも育てていきたい。

【課題】

環境学習プログラムの内容はとても充実しており、普段なかなかできないことを専門家の先生のご指導のもと経験することができている。毎時間、子どもたちにとって心に残る活動や学びである。しかし、その学び得たことを、体験していない友達や家族・地域の方々に発信する手段や機会が確立できていないことは課題である。他校での活動報告を参考にしながら、本校でも発信することに力を入れていければ、さらに充実した環境学習になると考える。